



# 「官民による若手研究者発掘支援事業における 研究開発テーマの実用化に向けたマッチング支援」

## 公募説明資料

2022年5月9日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
新領域・ムーンショット部

- 本資料は、公募内容をわかりやすくするために抜粋したものです。
- 詳細は、ホームページに掲載をしている公募要領や仕様書をご覧ください。

(ホームページ)

[「官民による若手研究者発掘支援事業における研究開発テーマの実用化に向けたマッチング支援業務」に係る公募について | 公募 | NEDO](#)

[https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2\\_100001\\_00026.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00026.html)

# 「官民による若手研究者発掘支援事業」(若サポ) 概要

# 若サポ事業の概要



## 事業概要

実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う大学等に所属する若手研究者(45歳未満)を発掘し、若手研究者と企業との共同研究等の形成を促進する等を支援する。

## 目的

実用化に向けた目的志向型の創造的な基礎又は応用研究を行う**大学等**※1に所属する若手研究者※2を発掘し、**若手研究者と企業との共同研究等**※3の形成を促進する等の支援をすることにより、**次世代のイノベーションを担う人材を育成**するとともに、我が国における新産業の創出に貢献することを目的とする。

※1 国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、並びに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関

※2 事業の開始年度の4月1日時点において、博士号の学位を取得、又は大学等の博士後期課程に在籍している者で、かつ45歳未満の研究者

※3 日本国内に登録されている企業(その事業活動に係る主たる技術開発及び意思決定のための拠点を日本国内に有するもの)と、実用化に向けた取り組みとして共同研究、受託研究、技術指導、博士後期課程を対象とした研究インターンシップ、クロスアポイントメント制度の活用等を行うもの

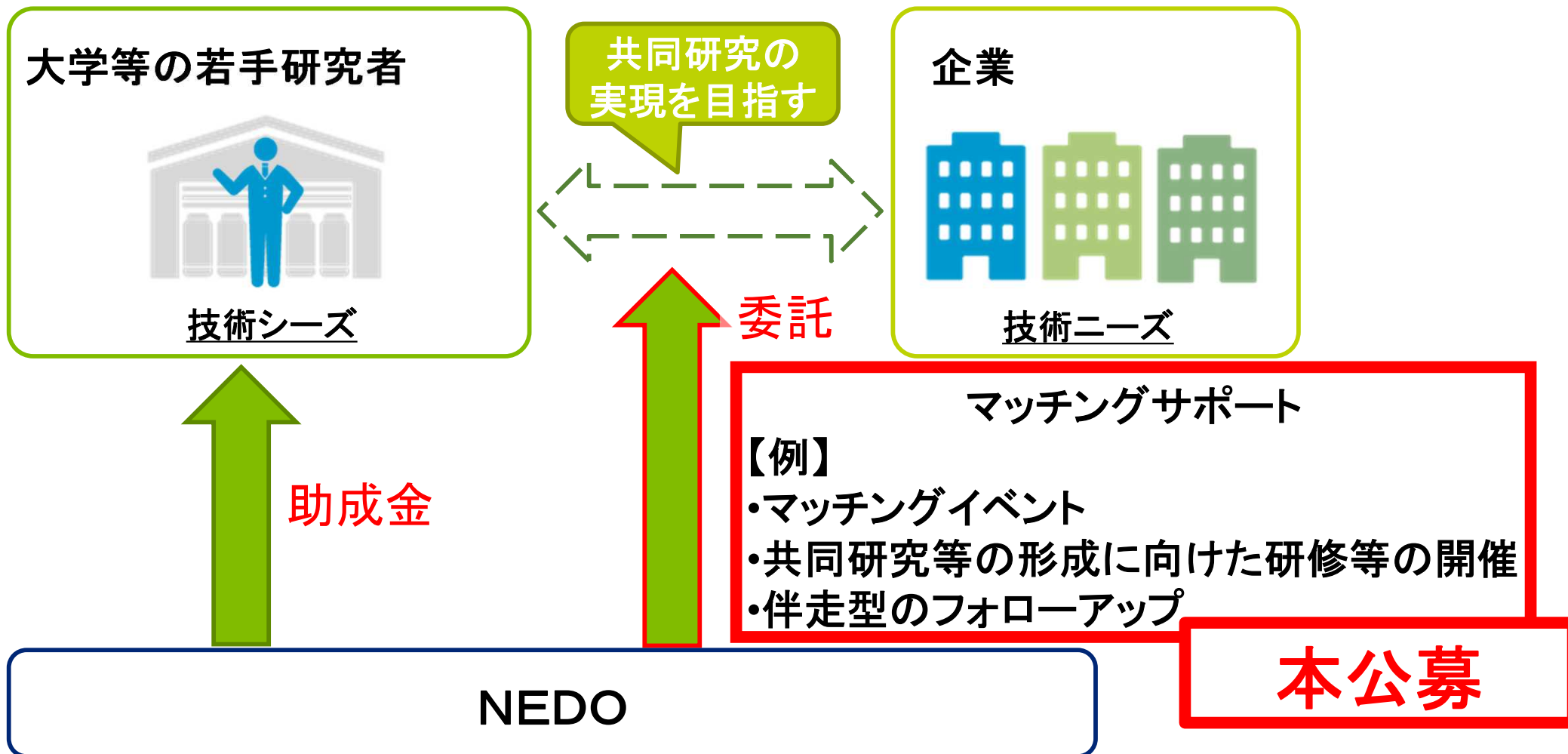
## 実施スキーム(大学等の支援)

- 事業形態 助成
- 金額／事業期間
  - 共同研究フェーズ 年間3,000万円以内(企業負担額が上限)／最大3年間
  - マッチングサポートフェーズ 年間1,000万円以内／最大2年間 ※金額には間接経費を含む

## 採択状況

- 第1回公募 共同研究フェーズ:25件 マatchingサポートフェーズ: 36件
- 第2回公募 共同研究フェーズ:16件\* マatchingサポートフェーズ: 17件
- 第3回公募 共同研究フェーズ:35件\* マatchingサポートフェーズ:104件\* \* 辞退 各1件

# 若サポ(マッチングサポートフェーズ)



## 【参考】採択状況(助成事業)【再掲】

- 第1回公募 マatchingサポートフェーズ: 36件
- 第2回公募 マatchingサポートフェーズ: 17件
- 第3回公募 マatchingサポートフェーズ: 104件

# 【参考】若サポ事業の背景



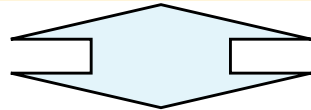
## ■ 背景（産業技術開発の現状と課題）

### 産業界

- 世界的に技術革新スピードが加速している（破壊的イノベーションの進行）
- 社会変化に基づくビジネスモデルの変化（多角化・新領域開拓のニーズ）



異分野を含めた外部リソースから、創造的な基礎～応用研究シーズの活用が必要



### 現状

我が国における企業の総研究費に占める大学への研究費の拠出割合（約0.4%）は、主要国（例：米…約1.0%、独…約3.7%\*）と比較して低く、産業界が大学の機能・リソースを十分に活用できていない状況

\* OECD「Research and Development Statistics」に基づき経済産業省算出

### 大学等

- 多くの公的研究資金において短期的成果が求められる中で、実績の少ない若手研究者が自律的に研究開発を実施するための環境の整備が十分でない面がある



若手研究者の創造的な基礎～応用研究シーズを、社会・産業のニーズに合致させるための支援が必要

官民が協調して大学等の有望な若手研究者・シーズ研究を発掘し、これを企業の研究開発や事業活動に早期に結びつけるエコシステムを構築することで、

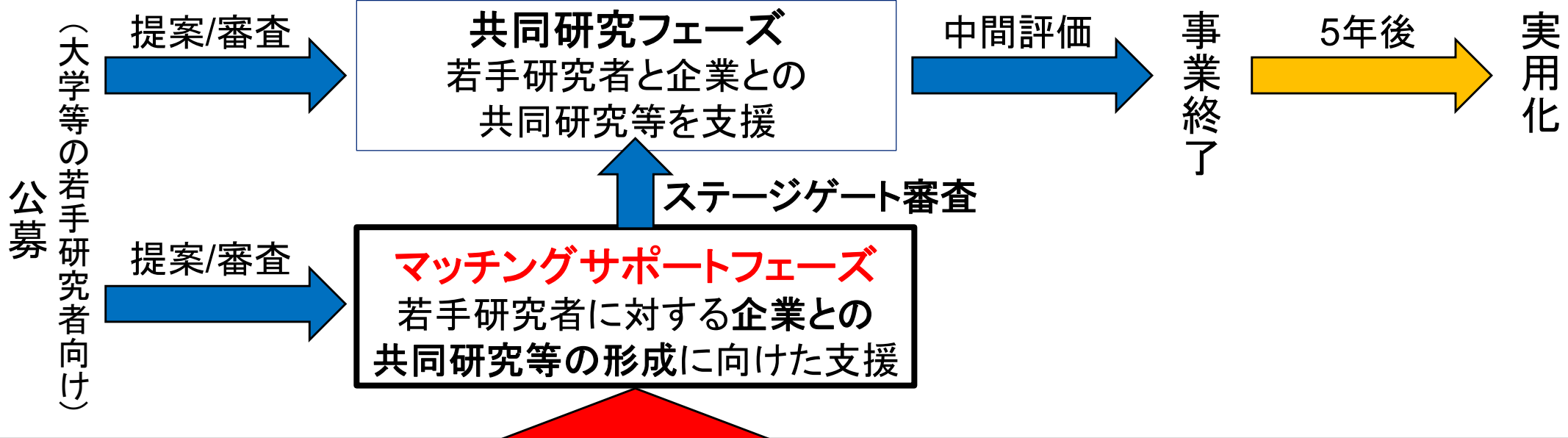
- ⇒ 世界最高水準のイノベーションを実現
- ⇒ 我が国の地域レベルでのイノベーション創出
- ⇒ 若手研究者が大学等と企業の両方へキャリアを模索すること

等が期待される

# 【参考】若サポ事業のスキーム



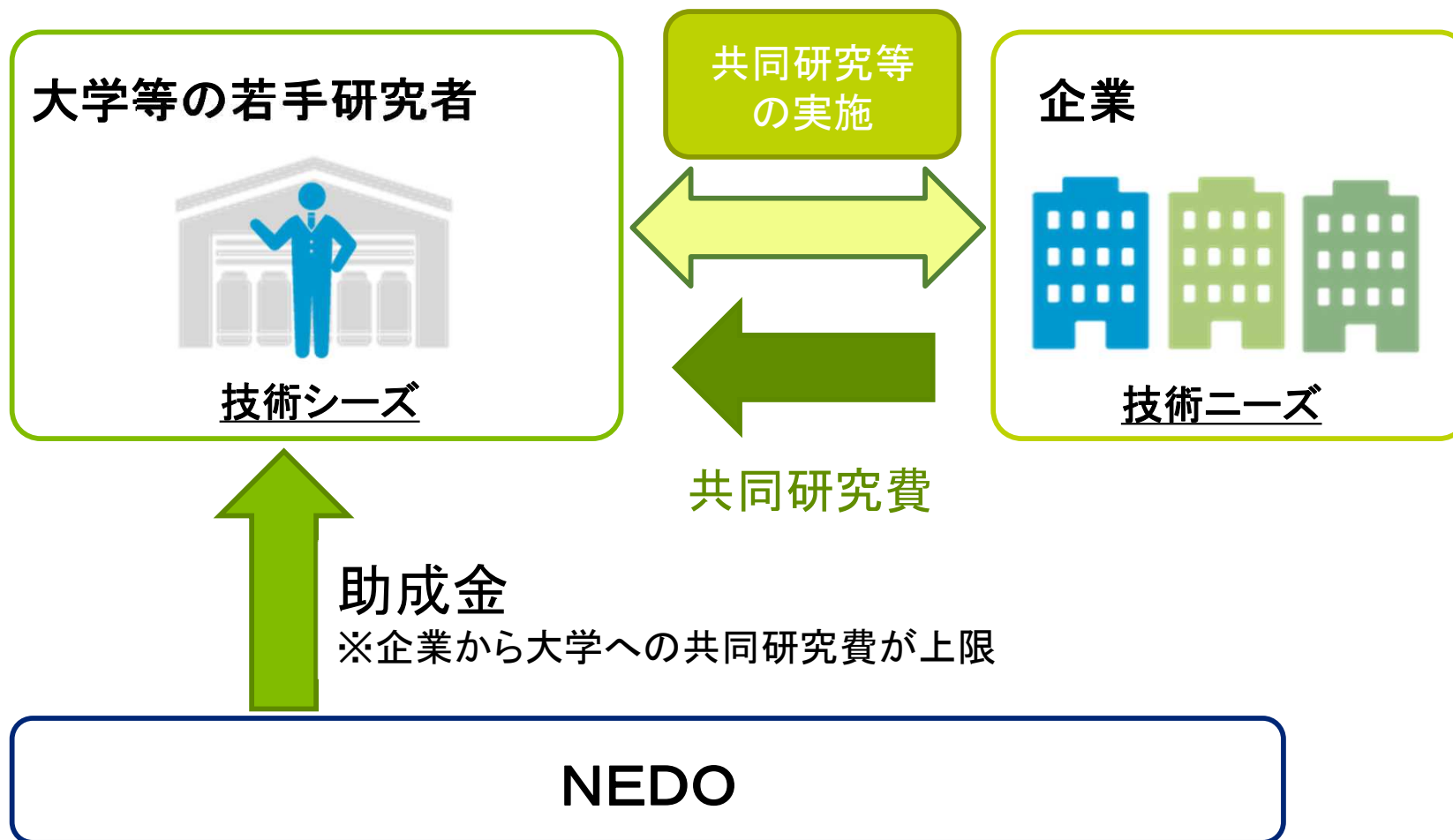
## 助成事業



## 委託事業(本公募)

マッチングサポートフェーズに研究開発提案を行う若手研究者に対し、企業との共同研究等を形成するためのマッチング支援

# 【参考】若サポ（共同研究フェーズ）



## 【参考】採択状況(助成事業)【再掲】

- 第1回公募 共同研究フェーズ: 25件
- 第2回公募 共同研究フェーズ: 16件
- 第3回公募 共同研究フェーズ: 35件



# 業務内容 (仕様等)

## ① 産学連携マネジメントと自立的に進展する仕組み※の構築に向けた 分析・整理・提言 【全項目必須】

### a. 産学連携マネジメントのあり方の分析・整理・検討

産学連携に関して、**若サポ事業の個別テーマを事例として**これまでの取り組みや研究成果を分析した上でその効果や特筆すべき事例、今後の課題等を、一般的な概念や国内外の事例との比較を交えた分析を行い、あわせて産学連携マネジメントのあるべき姿を整理・検討をすること。

### b. 産学連携が自立的に進展する仕組みの構築に向けた分析・検討・提言

若手研究者による産学連携によるイノベーションを推進することを目的に、また将来的には助成研究者が若サポ等での経験を活かし、我が国の産学連携を牽引する等、**産学連携が自立的に進展する仕組みづくりのための仮説と対応案を検討**した上で、大学等の産学連携部門等における具体的なアクションを得るための示唆を導き出し、NEDOに対して提案すること。さらに、可能なものについて実際のアクションにつなげること。

※「自立的に進展する仕組み」とは、「若サポ事業による支援期間終了後あるいは若サポ事業終了後も大学等の若手研究者が産学連携を志向し、また企業から共同研究費として大学等に対して資金が継続的に導入される状況」を想定している。

## ②企業とのマッチングに向けた研究者支援業務

若手研究者と企業との共同研究の実現に向けて、マッチングの支援を行う。

### a. 伴走型のフォローアップ支援(支援対象:助成研究者)【必須】

企業の関心事項・要望等の解釈と研究開発計画への反映・指導、研究開発出口イメージの提案(PRする企業分野・業界の選定)等の共同研究等の形成に向けた助言・提言を行うこと。

なお、第4回公募において助成研究者の採択決定後、速やかに採択者へのヒアリングを実施し、研究開発の内容や出口イメージ、希望する企業との共同研究等のイメージ等を早期に把握し、マッチング支援の方向性を検討すること。企業とのマッチングが円滑に進展するように重層的な支援を行うこと。また共同研究等の形成に向けた助言・提言については、助成研究者が所属する機関の産学連携部門等との協力の下で実施すること。

### b. 関心を示した企業との連絡調整業務(支援対象:助成研究者)【必須】

若手研究者による助成研究者へのマッチング支援を通じて技術シーズに関心を示した企業と助成研究者との連携、意見交換等を推進することを目的に、助成研究者及び企業の双方への連絡調整を行うこと。なお、助成研究者からの研究開発進捗・成果等及び企業へのフィードバックの収集、企業の関心事項・要望等の助成研究者へのフィードバック等、助成研究者との連絡調整は原則として、NEDOが行うこととするが、業務の効率化の観点から、本業務に採択された事業者から直接連絡調整を行う場合もある。この際、連絡調整数が相当程度大きくなる可能性があることから、外注の活用も含めた効率的な実施方法についても検討すること。

## ②企業とのマッチングに向けた研究者支援業務(つづき)

### c. 産学連携セミナー等の開催(支援対象:全ての提案者)【必須】

**若手研究者と企業との共同研究等の形成に向けた研修**(産学連携に向けた基礎的・実践的な知識の修得等)や産学連携・オープンイノベーション講習会等を合わせて**各年度4回**(同一内容で連続して開催した場合は1回とカウントする)**を目安**として、具体的な内容や開催回数についてはNEDOと相談の上で開催すること。また当該産学連携セミナー等についても、マッチングイベントと同様に、オンラインシステム活用等も含めて実施すること。

### d. その他の企業とのマッチングに向けた研究者支援手法の検討【独自提案】

若手研究者と企業とのマッチングに向けた効果的な方法等が上記以外にある場合は提案をすること。

#### 【例】

- ・研究者のマインドセット向上
- ・技術シーズの優位性の指標化やアピールポイントの整理
- ・企業のニーズ調査のフィードバック

## ③ 企業の関心事項に関する調査等

若手研究者と企業との共同研究の実現に向けて、**企業の関心事項に関する調査**を行う。

### a. 助成研究者の技術シーズに対する企業の関心事項・要望等の取り纏め(支援対象:助成研究者)【必須】

**企業の関心事項・要望等を収集・整理し、助成研究者の技術シーズと併せてリスト化し、NEDOに報告するとともに、これらの情報は上記②の実施内容にも反映し、助成研究者と企業との効率的な情報交換やマッチングを促進**すること。

### b. 企業のニーズとのマッチング支援(支援対象:全ての提案者)【必須】

本事業で得られた企業のニーズや**委託先等のネットワークにおいて活用できる企業のニーズ**を活用して、**研究者と企業との面談の機会を積極的に設ける**こと。

### c. その他の企業ニーズ調査手法の検討【独自提案】

若手研究者と企業との共同研究の実現に向けて、企業の関心事項等を効果的に把握できる方法等が上記以外にある場合は提案をすること。

【例】

- ・企業のニーズ調査
- ・リバースピッチ

## ④企業とのマッチングの場の創出

若手研究者が有する**有望な技術シーズ**を広く**全国の企業に周知**することで、**若手研究者と企業との共同研究等の形成につながる機会を創出**すること。

### a. 技術シーズのWebサイト掲載(支援対象:全ての提案者)【必須】

#### ● シーズリスト作成

マッチングサポートフェーズに提案のあった技術シーズを広く全国の企業に効率的かつ効果的に周知することを目的に、掲載を希望する**全ての提案者の研究開発提案の内容をシーズリストとしてまとめる**こと。

#### ● 個別技術シーズ紹介コンテンツの作成・更新・修正

**技術シーズについて企業が容易に閲覧**できるWebサイト(若手研究者産学連携プラットフォーム(以下、「Webサイト」という): <https://wakasapo.nedo.go.jp/>)の**コンテンツを作成**し、NEDOが指定するWebサイトに掲載する。さらに、現行のコンテンツを含め、可能な範囲でコンテンツの更新・修正等を行うこと(Webサイトのサーバ管理はNEDOにて行う)。

#### ● 問い合わせ対応

助成研究者の技術シーズに対する企業からの問い合わせ対応を技術咀嚼等も含めて行うこと。

#### ● Webサイトの効率的・効果的な活用方法のあり方の検討

既存のWebサイトの構造や掲載コンテンツのあり方など、2023年4月からのサーバの更新時期を想定し、**企業とのマッチングが効果的・効率的となるための改善策を積極的に提案**すること。

## ④企業とのマッチングの場の創出(つづき)

### b. マッチングイベント業務(支援対象:助成研究者)【必須】

**若手研究者と企業とのマッチングイベントを開催**すること。実施内容や実施方法、開催回数や時期は、若手研究者と企業とのマッチングの機会の創出と共同研究等の実現に向けて、業務を効果的・効率的に実施するため、いずれも委託先の創意工夫のもとにNEDOと緊密なコミュニケーションをとり、NEDOの承認を得た上で決定すること。

2022年度については、**イノベーション・ジャパン 大学見本市**(<https://www.jst.go.jp/tt/fair/>)の**機会を活用したイベントをオンサイトも含めて検討**すること。また助成研究者等が連携する仕組みや、学協会等の関連機関との連携したイベントや取り組みについても検討をすること。

### c. その他の企業とのマッチングの場の創出の検討【独自提案】

若手研究者と企業とのマッチングに向けて上記以外に効果的な方法等がある場合は提案をすること。

【例】

・プッシュ型コンタクト

## ⑤事業運営支援等

若サポ事業の以下の事業運営支援を行うこと。

### a. 若サポ事業の広報【必須】

「若サポ事業」に係る事業制度、マッチング支援の内容、公募情報等を大学等及び企業へ周知すること。企業に向けた周知活動等については、委託先もしくは連携機関等が有するネットワークを活用し、当該企業の研究開発部門や新規事業企画部門等の広く技術探索等を担う部門へのアプローチ方法を工夫・検討すること。

### b. 各種情報の取り纏め【必須】

助成研究者を含む**全ての提案者**(技術シーズのWebサイト掲載を希望する若手研究者に限る)、**技術シーズ**に対して**関心を示した企業のそれぞれの産学連携に係る相談窓口(連絡先)**を取りまとめること。

### c. NEDOが実施する会議等への参加【必須】

NEDOが川崎等において開催する会議や委員会等へ参加すること(各年度2回程度を想定)。その他、NEDOに対して、適宜、本業務の実施状況の報告(中間報告や最終報告の概要説明、外部有識者への報告等を含む)や業務の遂行に必要な打合せに参加すること。



## ⑤事業運営支援等(つづき)

### d. 「若サポ事業」新規公募採択に関する支援業務【必須】

若手研究者の新規公募(各年度1回程度を想定)において、若手研究者がNEDOに対して提出する提案資料の取りまとめ及び必要な分析を行う。具体的には、提案資料の不備確認、受付番号の採番、各種提案資料情報のExcelファイルへの転記及び整理等を行うとともに、提案者の属性及び提案のあった技術分野等の傾向に関する分析を行う。

### e. 問い合わせ対応【必須】

助成研究者の技術シーズに対する企業からの問い合わせ対応、技術咀嚼等も行うこと。

### f. その他【独自提案】

事業運営支援等に関し、上記以外に効果的な方法等がある場合は提案をすること。

## ● 実施期間

NEDOが指定する日から2025年3月31日

## ● 予算規模

各年度の上限額は以下の通り(イベント等に係る費用を含む)。

2022年度(2022年7月下旬頃～2023年3月) : 300百万円

2023年度(2023年4月～2024年3月) : 150百万円

2024年度(2024年4月～2025年3月) : 250百万円

上記予算に関し、Webサイトのサーバー管理はNEDOにて行うため、これに係る費用は含めないこと。また、助成研究者等のマッチングイベント、集合研修等への参加に係る旅費は必要概算経費に含めること。

当初契約は2023年度末までとし、本業務開始後1年が経過した時点で本業務の実施状況について、外部有識者による評価を行います。2024年度契約については評価結果を基に契約延長の可否を決定します。

応募の対象は、以下のa.からf.までの全ての要件を満たすことができる、単独ないし複数(連名)で受託を希望する企業等とします。

- a. 日本全国に所在する大学等の運営や技術シーズ等、企業の経営や技術的な企業ニーズ等の情報に精通していること。また、大学等の産学連携部門や研究推進部門、及び企業の産学連携部門等と連携でき、それらの実績を有していること。
- b. 大学等と企業とのマッチング支援の実績及び広く企業にアプローチ可能なネットワークや情報量を有する実施体制を整え、多様な大学等の技術シーズと企業ニーズにも対応する効率的なマッチング手法に関するノウハウを有し、全国規模で実施できること。
- c. 当該業務又は関連業務についての実績を有し、かつ目的・目標の達成及び業務の遂行に必要な組織、人員等を有していること。
- d. 当該業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金等について十分な管理能力を有し、かつ情報管理体制等を有していること。
- e. NEDOが業務を推進する上で必要とする措置を、適切かつ迅速に遂行できる体制を有していること。
- f. 複数(連名)で提案する場合、当該応募要件を満たすことのできる体制を構築すること(再委託、外注を含む)。

- ① 提案書は日本語で作成してください。
- ② 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提案資料が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- ③ 登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。(受付番号の表示は受理完了とは別です。)
- ④ 入力・アップロード等の操作途中で提出期限を過ぎて操作が完了できなかった場合は、受け付けません。
- ⑤ 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。
- ⑥ 「3. 応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- ⑦ 受理後であっても、応募要領の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- ⑧ 本業務の一部を再委託する場合は、再委託の額の制限等、調査委託契約約款に記載の関連する条項を遵守する必要があります(再委託の額は、NEDOと委託先との契約金額の50%未満です)。
- ⑨ 委託先の選定に係る審査は、本公募要領「7-2. 審査基準」に基づき受理した提案資料を審査しますが、必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合があります。

委託先の選定は、①外部有識者による採択審査委員会と②NEDO内の契約・助成審査委員会の二段階で審査します。契約・助成審査委員会では、採択審査委員会の結果を踏まえ、NEDOが定める基準等に基づき、最終的に実施者を決定します。審査の過程において、必要に応じてヒアリング審査や資料の追加等をお願いする場合があります。

## ①採択審査の基準

- I. 目的・目標・実施内容が仕様書の内容と合致しているか
- II. 提案する方式・方法に工夫があり優れているか
- III. 業務実施における課題とその解決に向けた取り組みの内容が明確かつ実現の可能性があるか
- IV. 業務を遂行するための高い能力を有するか(関連する実績等)
- V. 提案する実施計画(実施体制、人員等を含む)が適切かつ実行可能性が高いものか
- VI. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等を受けているか
- VII. 総合評価

## ② 契約・助成審査委員会の選考基準

- I. 調査の目標がNEDOの意図と合致していること
- II. 調査の方法、内容等が優れていること
- III. 調査の経済性が優れていること
- IV. 関連分野の調査等に関する実績を有すること
- V. 当該調査を行う体制が整っていること
- VI. 経営基盤が確立していること
- VII. 当該調査等に必要な研究員等を有していること
- VIII. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること

## 【公募～業務開始までの主なスケジュール】

2022年

- 4月28日 : 公募開始
- 5月27日 : 公募締切(正午までにアップロード完了)※
- 6月中旬(予定) : 採択審査委員会(外部有識者による審査)
- 6月下旬(予定) : 契約・助成審査委員会
- 7月上旬(予定) : 委託先決定、公表
- 7月下旬(予定) : 契約、業務開始

※提出書類は公募要領P.4-5をご参照ください。

必要に応じてヒアリングや追加資料の提出等を求める場合があります

# 問い合わせ先



公募要領 P.13

当該業務の内容、応募に係る具体的な手続き、提出資料の記載方法等のお問い合わせは、以下の問い合わせ先までE-mailでお願いします。  
但し、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

新領域・ムーンショット部 若サポ担当

E-mail : [wakate-chosa@nedo.go.jp](mailto:wakate-chosa@nedo.go.jp)



